

Corporate Profile

世界のモノづくりに、創造の翼を。

経営理念

ミッション
Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

ビジョン
Vision

あるべき姿

「次世代型エンジニアリング商社」

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、
当社のエンジニアリング機能を核として継続的な価値の提供により
グローバルにお客様事業の成長と持続可能な社会の実現に貢献します。

バリュー
Value

価値基準

信頼

社内外の関係者と協調し、ステークホルダーからの期待や社会的責任と当社目標を一致させながら、やりがいに溢れ、個人が尊重され、成長を実感できる会社を目指します。

成長

独自のエンジニアリング機能によるモノづくりへの貢献とともに、積極的な成長市場への投資・事業領域の拡大により継続的な成長を目指します。

貢献

経営の透明性と会社の継続的な品質の向上を通じて、重要な社会課題に積極的に取り組むことで持続可能な社会の実現に貢献します。

多彩なニーズに応える 7つの事業



プラント・エネルギー事業

プラント分野における各種設備や高度な技術を提供しています。また、エネルギー分野においては再生可能エネルギーを中心に、脱炭素社会に向けた関連商材を提供しています。



エナジーソリューションズ事業

二次電池分野において、主にリチウムイオン・バッテリー（LIB）製造関連設備を提供しているほか、燃料電池、太陽光、蓄電池等の次世代エネルギーに関するソリューションを提供しています。



産業機械事業

家電、住宅設備、食品包装、医療、二輪、建設機械などの幅広い分野において、主に樹脂加工成形機（押出・真空・射出）、自動組立機や、表面処理に関わる生産設備、原材料等を提供しています。



エレクトロニクス事業

各種電子機器および半導体デバイス関連の製造分野において、主に電子部品実装ラインや半導体組立装置、周辺機器等の各種設備およびシステムを提供しています。また近年製造工程・物流工程で加速する自動化ニーズに対し、各種自動化設備および自動化システムに注力しています。



自動車事業

市場が拡大する自動車の電動化・自動運転を見据え軽量化・電動パワートレイン・センシング等主要部品の製造工程に注力して成形設備、加工機、組立・検査設備等を提供しています。近年ではCO₂削減を目的とした新工法の開発や各国のグローバル装置メーカーとの連携を強化しております。



ヘルスケア事業

ヘルスケア分野において、錠剤外観検査機や包装機などの生産設備販売から生産ラインのエンジニアリング、商品開発等を行っています。



航空・インフラ事業

航空・空港分野において、主に航空機地上支援機材や各種関連機器を提供しているほか、防災分野において、主に特殊車両や各種関連機器を提供しています。

進化する産業機械サプライヤー

当社は戦後復興の中で創業し、機械の売上に徹して投機性のない商売を地道に続け、堅実な企業として信頼を得ながら成長を遂げてきました。国内の基幹産業を支えたことは産業機械のサプライヤーとしての基盤となり、近年、事業領域は多様な業界に広がっています。そして、今後の果たすべき役割は「モノ売り」の商社という枠を越えた領域。「モノ×コト」売りを具現化する「次世代型エンジニアリング商社」に向けて進化を続けています。



1982年
エレクトロニクス業界へ進出



1989年
航空業界へ進出



2006年
二次電池分野への参入



1952年
石油・石油精製、製紙業界を開拓



1959年
プラスチック業界へ進出



1964年
自動車業界へ進出



1979年
医薬業界へ進出

■ 連結売上高
■ 当期純利益
(親会社株主に帰属する当期純利益)

1948年～1965年は12月期決算

1966年は15カ月決算(決算期を3月に変更)

1999年以降は連結業績



事業領域の拡大

- 1952** プラント・エネルギー
- 1959** 産業機械
- 1964** 自動車
- 1979** ヘルスケア
- 1982** エレクトロニクス
- 1989** 航空・インフラ
- 2006** エナジーソリューションズ

事業エリアの拡大

- 中国エリア** 1962 台湾・台北駐在員事務所
- 米州エリア** 1968 ニューヨーク駐在員事務所, 1972 現地法人(DJA)設立 ※ニューヨーク
- アジアエリア** 1971 シンガポール駐在員事務所
- インドエリア** 2018 DAIICHI JITSUGYO INDIA PVT. LTD. 設立
- 欧州エリア** 1983 ロンドン駐在員事務所 (2009年閉鎖), 2008 DJK EUROPE GMBH 設立
- 1997 上海一実貿易有限公司設立
- 2005 DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE LTD.(DJKA) 設立

第一実業のキーワード

産業機械サプライヤーとしての
長年の実績

SINCE 1948 創立 **77** 年

持続的な成長と信頼 (2024年3月期末実績)

連結売上高



連結営業利益



海外売上高比率



長期発行体格付

(2024年9月10日現在)



成長を支える資本

当社の成長を支える資本は創業以来積み上げてきた当社の強みそのものです。これらの資本を強化し、長期ビジョンの実現を目指します。

人的・知的資本

- 成長戦略を支える多様な人材 (2024年9月30日現在)

従業員数	連結 1,455 名
海外従業員数	446 名
技術職	498 名

社会関係資本

- 長年培ってきた信頼
- 強固なパートナーシップ (2024年9月30日現在)

得意先	約 3,900 社
仕入先	約 4,700 社

組織資本

- 豊富なネットワーク
- 製造・サービス子会社
- エンジニアリング機能を強化するための専門組織

海外拠点数 <small>(2024年9月30日現在)</small>	17カ国 35 拠点
製造子会社	2 社
サービス子会社	2 社

財務資本

- 安定した財務基盤 (2024年3月31日現在)

総資産	1,938 億円
自己資本	733 億円
自己資本比率	37.8 %

「モノ × コト」売り

最適なソリューションを提供するにあたり、設備(モノ)の販売のみならず、製品製造の技術支援や専門知識を要するエンジニアリングなど、サービス(コト)に業容を拡大し、付加価値の向上を図っています。



「モノ × コト」売り



グローバルネットワーク

米州・欧州・中国・アジアに加え、2025年4月よりアジアエリアからインドが独立し、世界五軸体制となりました。日本および世界17カ国、35拠点(2024年9月30日現在)でビジネスを展開し、グローバルネットワークを生かしてお客様に最適なソリューションを提供しています。

海外拠点 35 拠点

営業サービス拠点
● 欧州エリア ● アジアエリア ● 中国エリア ● 米州エリア ● インドエリア
★ テクニカルセンター

欧州エリア 4 拠点

● フランクフルト ● プラハ ● ブダペスト ● ソフィア

中国エリア 8 拠点

● 上海 ● 天津 ● 蘇州 ● 武漢 ● 広州
● 深圳 ● 香港 ● 台北

アジアエリア 11 拠点

● シンガポール ● クアラルンプール ● ジョホールバル ● ペナン ● バンコク
● ジャカルタ ● ハノイ ● ホーチミン ● マニラ ● ラグナ ● ソウル

テクニカルセンター ★ バンコク ★ ハノイ ★ ラグナ ★ ソウル

インドエリア 3 拠点

● ニューデリー ● バンガロール ● アーメダバード

テクニカルセンター ★ ニューデリー

日本 7 国内拠点

● 大阪 ● 名古屋 ● 仙台
● 広島 ● 福岡 ● 富山

テクニカルセンター

★ 川口

第一実業
本社

米州エリア 9 拠点

● シカゴ ● ヒューストン ● オースティン ● ノックスビル ● ケンタッキー
● ケレタロ ● モンテレイ ● レオン ● サンパウロ

(2024.9現在)

ごあいさつ

代表取締役 会長執行役員 CEO 宇野 一郎



新工場立ち上げ支援、プロジェクト管理などへと広がり、当社の「モノ(産業機械)×コト(サービス)売り」はすでに多くの実績を上げ、お客様からのご支持を頂いております。

このソリューションやエンジニアリングを含めた独自のビジネスモデルをさらに進化させ、他社にはまねのできないような技術サービスを付加したエンジニアリングを提供し、お客様のグローバルな成長に貢献していく。それが、私たちの使命であると考えています。

今年度、当社は会長(CEO)・社長(COO)制を敷き、経営の強化を図りました。新たな経営陣一同、力を合わせ、お客様に提供する価値のさらなる向上に全力を尽くしてまいります。

当社は、産業機械を取り扱う商事会社として、1948年の創立以来、モノづくり企業を支援する事業を行ってまいりました。80年近い歩みの中で当社は、創立当時から受け継ぐ開発精神を持って、常に「モノづくりの現場に提供すべき価値は何か」を追求し、ビジネスの開発・創造に努めてきました。そして、機械販売から始まった事業は、多様化するニーズに応え、ソリューション提案、

宇野 一郎

代表取締役 社長執行役員 COO 船渡 雄司



今、モノづくりの現場はグローバルにつながり、オペレーションは加速度的に複雑化しています。さらに、AIやIoTなど先端技術を取り入れることで、モノづくりの高度化・専門化の流れも強まっています。

こうした状況の中で、私たち総合機械商社が果たすべき役割は重要性を増しており、専門性を高め、お客様の課題解決に貢献していかなければならないと考えています。特に、当社が強みとする「独自のエンジニアリング機能」の向上に一層注力し、お客様のご期待・ご要望に応えてまいります。投資も果敢に実行し、グループとしての能力を高め、より効率的・包括的な生産現場のサポートができる体制を構築してまいります。

当社は、「人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに」を経営理念に掲げ、世界のモノづくりの現場に寄り添うビジネスを展開する企業です。今年度新たに社長に就任した者として、この「モノづくりの現場に寄り添う」

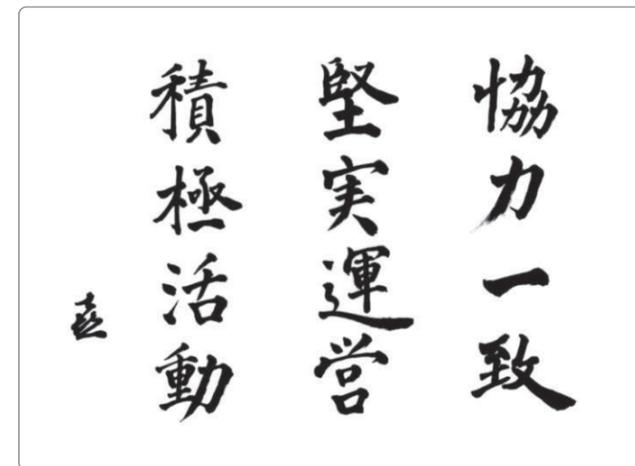
という精神を肝に銘じ、新しい時代を担う総合機械商社としての価値創造に努め、ステークホルダーの皆様とともに成長していくことを目指していきます。

船渡 雄司

創業期の理念

創業の精神

第一実業株式会社は、商事会社として経済社会の流通機構の一翼を担い、以て社会の繁栄に寄与することを目的として協力一致して積極的に活動し、堅実に運営して企業を安定成長せしめ、此処に働く人々の生活の向上幸福の増進を図る。



社是三原則

BUSINESS SEGMENTS

事業概要

プラント・エネルギー事業

プラント分野においては長年にわたる豊富な経験により各種プラントや装置とともに高度な専門性を生かした技術を提供しています。エネルギー分野においては、バイナリー発電、太陽光発電およびCCS/CCUS関連装置、水素/アンモニアといった次世代燃料への取り組みを推進しています。また、脱炭素社会の実現に向けたFS・FEED支援サービスや各種ソリューション提案や関連商材の開発にも注力しています。



事業分野



資源・石油・化学



素材



脱炭素



DX
(デジタルトランス
フォーメーション)

主な取扱品

石油精製・
石油化学プラント用設備

次世代燃料ソリューション

製紙プラント用設備

石油・ガス・地熱生産用
地上設備

陸上・海上用掘削リグ

発電用設備

再生可能エネルギー
関連設備

DXソリューション

環境設備

分析・測定装置

化学プラント用設備

安全監視装置

エネルギーソリューションズ事業

脱炭素社会に向けてエネルギー市場においては大変革が起きており、再生可能エネルギーの普及やモビリティの電動化が急速に進んでいます。二次電池、燃料電池、次世代電池、太陽光関連などのエネルギー分野において多様化するニーズに応えるべく、グローバル、エンジニアリング機能などの強みを生かしてさまざまなソリューションを提供し、サステナブルな社会の実現を目指しています。



事業分野



リチウムイオン・
バッテリー



インクジェット



レアメタル抽出・
PFAS回収



次世代電池

主な取扱品

電池材料販売

正・負極材製造設備

セパレーター製造設備

セル電極製造設備

セル組立設備

充放電検査設備

モジュール組立設備

全固体電池製造設備

燃料電池製造設備

太陽光関連設備

インクジェット

レアメタル抽出・PFAS回収

産業機械事業

家電や住宅設備、食品包装、医療用機器等の製造分野において、生産性向上のための省力化・省人化に対応する最適なファクトリーオートメーション(FA)やフレキシブル・マニュファクチャリング・システム(FMS)、自動組立ライン、周辺機器等のコーディネート提案が事業の主力です。また、海外における現地調達や第三国調達等の対応によりコスト低減にも貢献します。



事業分野



家電・OA

食品包装

医療機器

住宅設備

物流資材

育苗

主な取扱品

FAシステム

射出成形機

押出成形機

圧空・真空成形機

鋳造機

金属加工機

セラミック加工機

自動組立設備

マテハン・ロボットシステム

塗装・表面加飾設備

樹脂・砂型用3Dプリンター

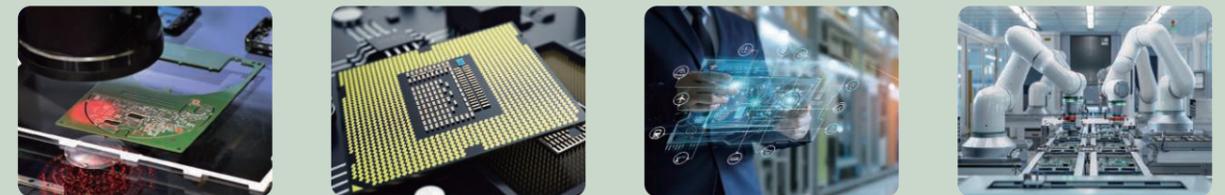
充填・包装設備

エレクトロニクス事業

表面実装(SMT)、マイクロエレクトロニクス等の分野において、電子部品実装システムや電子デバイスシステム、自動化設備を中心に、最先端技術と経験でものづくりプロセスの改革をもたらすソリューションを提供しています。技術リソースの拡充やプロセス開発を通じて、次世代エレクトロニクスにおけるイノベーションの創出に取り組んでいます。



事業分野



表面実装
(SMT)

半導体・
電子デバイス

物流自動化ソリューション
LOGITO(ロジト)

組立ライン・
自動化・専用機

主な取扱品

電子部品実装システム(SMT)

SMT各種周辺装置

SMT後工程自動化設備

SMT各種検査装置

電子部品材料管理システム

半導体・電子デバイス
関連システム

次世代ディスプレイ
関連システム

各種物流自動化システム

スマートファクトリー
ソリューション

AI・IoT等
各種ソフトウェア

組立工程自動機・専用機

自動車事業

自動車の車両組立、内外装およびパワートレイン系部品、車載デバイスのほか、これらを構成するあらゆる部品製造における樹脂・金属成形および加工、表面処理、組立、検査等、さまざまな工程に適合する各種設備のインテグレート提案に注力しています。また、自動車産業が自動運転や電動化に向けて急速な変化を見せる中で、先進的な生産設備で次世代自動車の普及拡大を支えます。



事業分野



車両・内外装領域



パワートレイン領域



カーエレクトロニクス・
ADAS領域

主な取扱品

射出成形機・付帯設備
樹脂加工設備

ダイカストマシン・付帯設備
金属加工設備

パワー半導体製造装置

塗装・表面加飾設備
(電着塗装、スプレー塗装、
蒸着、スパッタ)

自動組立装置
(モータ・インバータ等)

自動組立装置
(カメラ・センサー・ECU等)

各種コンベア・車両組立装置
自動車両検査装置

自動組立装置
(電池モジュール・パック)

各種検査装置
(画像・X線・その他)

ヘルスケア事業

主に医薬品分野において、錠剤・カプセルの外観検査システムや錠剤印刷検査システム、固形剤・注射剤の各種自動包装ライン等の設備を提供しています。また、業界における優位性を発揮するべく、グループ会社である第一実業ビスウィル㈱などの装置メーカーやお取引先とともに次世代の新たなシステム開発にも積極的に取り組み、市場投入を図っています。



事業分野



医薬品



化粧品



食品

主な取扱品

錠剤外観検査システム

錠剤印刷検査システム

カプセル外観検査システム

PTPブリスター包装ライン

四方シール包装ライン

エンジニアリング業務

バイアル充填ライン

シリンジ充填ライン

粉末剤充填ライン

リーク検査機

自動細胞培養装置

各種包装ライン

✈️ 航空・インフラ事業

航空・空港分野においては地上支援機材や空港施設用設備等を主にエアラインやグランドハンドリング会社、空港会社に提供しています。また、防災・防衛分野においては消防車をはじめ各種特殊車両を国や地方自治体に提供しています。欧米から輸入する主力商材は使用環境やニーズに応じてカスタマイズを行うほか、専門のサービスグループにより充実したアフターサービスを実施し、社会インフラを支えています。



事業分野



航空



空港



防災・防衛



カスタマーサポート

主な取扱品

航空機用地上支援機材

空港用地上支援機材

空港施設用設備

災害救援用特殊車両

省人・省力化機材

防衛関連器材



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

会社概要 Corporate Outline

商号	第一実業株式会社	Trade Name	DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.
資本金	5,105百万円 (発行済株式総数33,259,200株)	Capitalization	Yen 5,105,000,000 (33,259,200 Shares Outstanding)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場	Stock Exchange Listings	The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
設立年月日	1948年8月12日	Establishment Date	August 12, 1948
主要事業	プラントおよび機械器具の輸出入・国内販売	Major Fields of Business	As a trading company specialized in machinery, DJK provides services in marketing, export and import of plant and equipment.
連結従業員数	1,455名 (2024年9月30日現在)	Number of Employees (Consolidated)	1,455 (As of september 30, 2024)

役員 Corporate Directors (2025年4月1日現在 / As of April 1, 2025)

代表取締役 会長執行役員	宇野 一郎	Chairman & CEO*	Ichiro Uno
代表取締役 社長執行役員	船渡 雄司	President & COO*	Yuji Funawatari
取締役 専務執行役員	二宮 隆一	Senior Managing Executive Officer	Ryuichi Ninomiya
取締役 常務執行役員	府川 治	Director, Managing Executive Officer & CFO	Osamu Fukawa
取締役 常務執行役員	上野 雅敏	Director, Managing Executive Officer & CSO	Masatoshi Ueno
取締役 常務執行役員	丸本 靖 (大阪支社長)	Director, Managing Executive Officer	Yasushi Marumoto (Osaka Branch Manager)
社外取締役	坂本 嘉和	Outside Director	Yoshikazu Sakamoto
社外取締役	山田 奈美香	Outside Director	Namika Yamada
社外取締役	中山 和夫	Outside Director	Kazuo Nakayama
常勤監査役	豊泉 隆宏	Full-time Audit & Supervisory Board Member	Takahiro Toyozumi
社外監査役	小山 充義	Outside Audit & Supervisory Board Member	Mitsuyoshi Koyama
社外監査役	小野 亜希子	Outside Audit & Supervisory Board Member	Akiko Ono
常務執行役員	青山 重博 (名古屋支社長)	Managing Executive Officer	Shigehiro Aoyama (Nagoya Branch Manager)
常務執行役員	大槻 信二	Managing Executive Officer & CSO	Shinji Otsuki
常務執行役員	岡田 尚一郎	Managing Executive Officer & CSO	Shoichiro Okada
上席執行役員	小玉 大二郎	Senior Executive Officer	Daijiro Kodama
上席執行役員	西井 啓介 (経営企画本部長)	Senior Executive Officer	Keisuke Nishii (General Manager, Corporate Strategy Div.)

(*Representative Director)

ネットワーク Network

海外 (Overseas)

■ DAIICHI JITSUGYO (AMERICA), INC.

- ・Head Office (Chicago)
- ・ヒューストン事務所/Houston Office
- ・ノックスビル事務所/Knoxville Office
- ・ケンタッキー事務所/Kentucky Office
- ・オースティン事務所/Austin Office

■ DJK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V.

- ・Head Office (Queretaro)
- ・モンテレイ事務所/Monterrey Office
- ・レオン事務所/Leon Office

■ DAIICHI JITSUGYO DO BRASIL COMERCIO DE MAQUINAS LTDA.

■ DJK EUROPE GMBH

- ・Head Office (Frankfurt)
- ・プラハ支店/Prague Branch
- ・ブダペスト支店/Budapest Branch
- ・ソフィア支店/Sofia Branch

■ 上海一実貿易有限公司/SHANGHAI YISHI TRADING CO., LTD.

- ・Head Office (Shanghai)
- ・天津事務所/Tianjin Office
- ・蘇州事務所/Suzhou Office
- ・武漢事務所/Wuhan Office

■ 第一実業(香港)有限公司/DAIICHI JITSUGYO (HONG KONG) LIMITED

■ 第一実業(広州)貿易有限公司/DAIICHI JITSUGYO (GUANGZHOU) TRADING CO., LTD.

- ・Head Office (Guangzhou)
- ・深圳分公司/Shenzhen Branch

■ 一實股份有限公司/DJK (TAIWAN) CORP.

■ DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD.

■ DAIICHI JITSUGYO (THAILAND) CO., LTD.

- ・DJKテクニカルセンター (タイ)/DJK Technical Center (Thailand)

■ DAIICHI PROJECT SERVICE CO., LTD.

■ DAI-ICHI JITSUGYO (MALAYSIA) SDN. BHD.

- ・Head Office (Kuala Lumpur)
- ・ジョホールバル事務所/Johor Bahru Office
- ・ペナン事務所/Penang Office

■ DAIICHI JITSUGYO (PHILIPPINES), INC.

- ・DJKテクニカルセンター(フィリピン)/DJK Technical Center (Philippines)

■ DJK FACTORY SOLUTIONS (PHILIPPINES), INC.

■ PT. DJK INDONESIA

■ DAIICHI JITSUGYO (VIETNAM) CO., LTD.

- ・Head Office (Hanoi)
- ・ホーチミン支店/Ho Chi Minh Branch
- ・DJKテクニカルセンター(ベトナム)/DJK Technical Center (Vietnam)

■ DAIICHI JITSUGYO INDIA PVT. LTD.

- ・Head Office (New Delhi)
- ・バンガロール支店/Bengaluru Branch
- ・アーメダバード支店/Ahmedabad Branch
- ・テクニカルセンター/Technical Centre

■ DJK ENGINEERING INDIA PVT. LTD.

■ ソウル支店/Seoul Branch

- ・ソウルテクニカルセンター/Seoul Technical Center

国内 (Domestic)

■ 第一実業株式会社/DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

- ・本社/Head Office (Tokyo)
- ・大阪支社/Osaka Branch
- ・名古屋支社/Nagoya Branch
- ・東北支店/Tohoku Branch
- ・中四国支店 (旧:広島支店)/Chu Shikoku Branch (formerly Hiroshima Branch)
- ・九州支店 (旧:福岡支店)/Kyushu Branch (formerly Fukuoka Branch)
- ・富山出張所/Toyama Office

■ 株式会社第一メカテック/DAIICHI MECHA-TECH CORPORATION

- ・D.S.T.センター/D.S.T. Center (Demonstration, Service & Training Center)

■ 第一実業ビスウィル株式会社/DAIICHI JITSUGYO VISWILL CO., LTD.

■ 株式会社DJ-WAVEエンジニアリング/DJ-WAVE ENGINEERING CO., LTD.

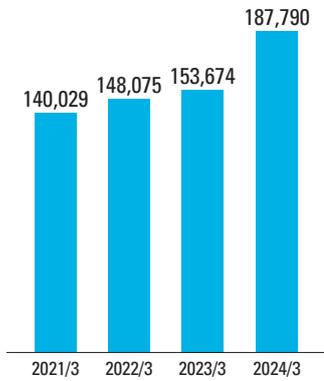
■ 第一スルザー株式会社/SULZER DAIICHI K.K.

■ 株式会社浅野研究所/ASANO LABORATORIES CO., LTD.

連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

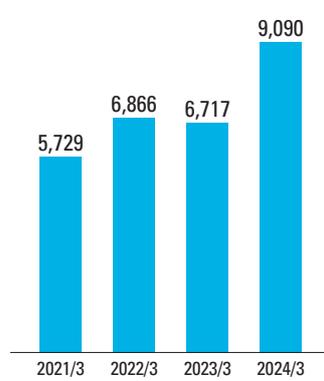
売上高

Net Sales (百万円/Millions of Yen)



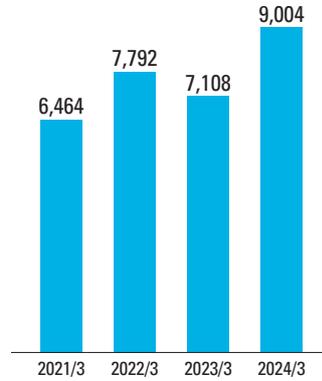
営業利益

Operating Income (百万円/Millions of Yen)



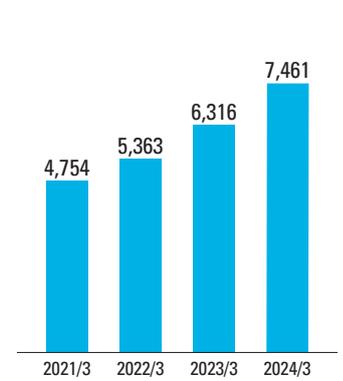
経常利益

Ordinary Income (百万円/Millions of Yen)



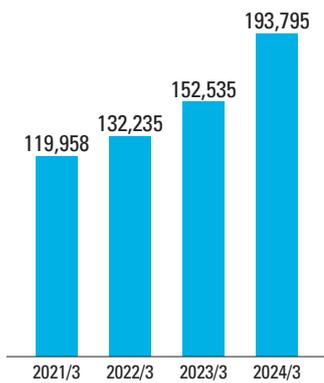
親会社株主に帰属する当期純利益

Profit Attributable to Owners of Parent (百万円/Millions of Yen)



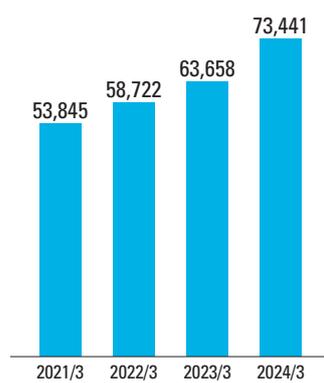
総資産

Total Assets (百万円/Millions of Yen)



純資産

Net Assets (百万円/Millions of Yen)

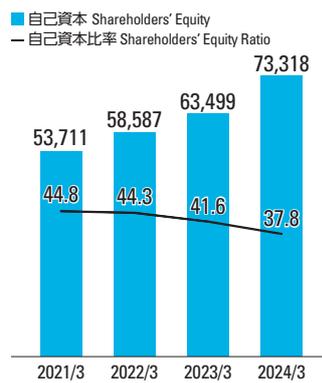


自己資本

Shareholders' Equity (百万円/Millions of Yen)

自己資本比率

Shareholders' Equity Ratio (%)

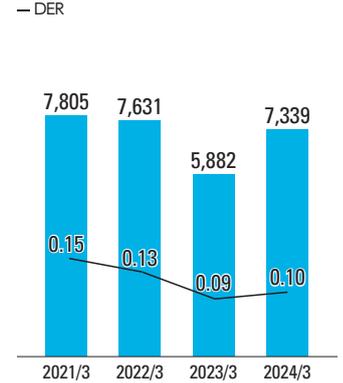


有利子負債

Interest-bearing Debt (百万円/Millions of Yen)

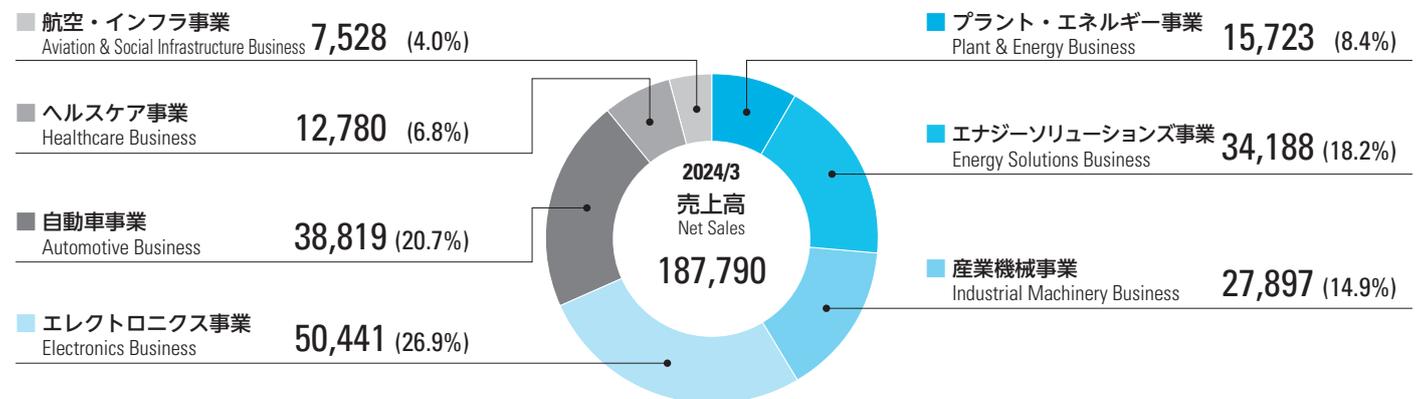
DER (倍/Times)

有利子負債 Interest-bearing Debt
- DER



セグメント別売上高*

Sales Breakdown by Segment (百万円/Millions of Yen)



* 売上高を事業セグメント別に分類したグラフです。
Pie chart indicates net sales by segment.